

126億円も使い残す＝2011年度決算 一方で庁舎基金に15億、財調基金に27億も積立

使い残し金の三分の一でも、これだけのことが出来ます

放射線量測定器を小中学校に配置	740万
食材等放射線測定器	8240万
学校給食の無償化	約10億
就学援助の拡充(生活保護の1.3倍)	約10億
18歳までの医療費無料化	6億3400万
出産祝い金(一人10万円)	3600万
介護手当(要介護4以上、月1万円)	3億2400万
学童保育クラブ増設(10カ所)	5100万
特別養護老人ホーム(2カ所)	約6億
住宅リフォーム助成	2000万
第2子の保育料無料化	1億6600万
低所得者の国保料・介護保険料の減免	4億8700万
商店街装飾灯電気料全額助成	1400万
見守り型緊急通報システム使用料無料化(非課税世帯)	900万
精神障害者通所施設食事代助成	3100万

震災対策や区民のくらしを支えるために使うべき

十月十八日に閉会した第三回定例会は、二〇一一年度の決算を審査する議会であり、東日本大震災以降の1年間の税金の使い方が問われた議会でした。

二〇一一年度決算では、使い残したお金が百二十六億円にもなっており、お金がないわけではあり

区が保健センターの廃止を提案 区民不在の集約化、効率化

第三回定例会に、「保健センターのサービス向上に向けた再編に関する検討結果報告書」(素案)が示され、小菅と高砂の保健センターの廃止が提案されま

した。昨年、青戸に新しい保健所ができたことを機に、集約化、効率化の名のもと、区民に身近な保健センター二か所をバツサリと切ってしまうという計画です。

小菅保健センターでは乳児健診や育児相談など、年間三四七回の事業が行われ、高砂保健センターでも三二七回の事業が行われて

でも、防災対策を強化し、暮らしを応援する予算に変えていくことができません。昨年の地震と原発事故による被害は、区内でも多く見受けられました。その対策として耐震改修助成制度の拡充や液状化対策、電力



廃止が提案されている小菅保健センター

不足が心配される中、太陽光発電設置助成の拡充、LED電球設置・購入助成が実施されました。しかし、これだけでは十分ではありません。東日本大震災の教訓から、災害から区民の命と財産を守る取り組みをさらに強化していかねばなりません。とりわけ放射能対策、小中学校・福祉施設をはじめとした地域の公共施設耐震化や安全対策が遅れていることは重大です。

アメリカ兵の女性暴行に抗議する 決議が全会一致で採択

日本共産党区議団は、区議会最終日前日の議会運営委員会において「米軍人・軍属の綱紀粛正と人権教育の見直しを求める決議」を提案し、翌日の本会議では、全会一致で採択されました。

第三回定例会開会中の十月十六日、米軍人による性暴力事件がまたしても発生しました。戦後米軍基地の周辺ではこうした事件が相次ぎ、とりわけ沖縄には米軍基地が著しく集中しているために事件が繰り返されています。

決議は、こうした犯罪に對し、「女性に対する性的暴行・致傷は、肉体的、精神的苦痛を与えるだけではなく、人間としての尊厳を

廃止後は、巡回検診や公共施設に窓口を設けるとしてありますが、とてもそんなことではサービスの低下を防ぐことはできません。

地域にあって気軽にいくことができる保健センターこそ、地域の人たちには大切で、集約化、効率化で廃止するのではなく、充実こそが求められています。

じゅうりんする極めて悪質な犯罪である。」とし、①被害者への謝罪と完全な補償に誠意を尽くすこと②綱紀粛正・人権教育を再度見直し、内容と効果・実施状況の公表を求めました。翌日、琉球新報に記事が掲載されましたが、日本共産党沖縄県委員長・赤嶺政賢衆院議員から葛飾区議団あてに謝辞が届きました。



発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
3695-1111(内2821)
責任者 濱川ひとし

日本共産党
葛飾区議団だより

日本共産党区議団のホームページをごらんください
<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>



学校の雨漏り放置するな 避難所としての機能も心配

区議団が学校を調査

今年六月の議会で、共産党の三小田区議が、学校の非構造部材について葛飾の学校は大丈夫なのかと質問しました。

この質問を機に、日本共産党区議団は、手分けして学校を点検することになりました。おりかさ明実区議は、地域の十二の学校を調査しました。

ひとつは、雨漏りがしている学校が多いということです。しかも、その雨漏りに対する対応が、「学校対応」、要するに学校の予算で何とかしなさいということ、さらには「様子見」として放置されているところも多いということがわかりました。

屋上の防水に雑草が

ある学校の屋上では、防水の隙間に草が生えていたり、雨樋が詰まってペンペン草が生えていました。鉄筋コンクリートの建物の雨漏りを放っておくと、水が鉄筋までしみこみ、錆がひどくなると膨張してコンクリートの中から破壊してしまうと

いうことが知られていました。ですから、鉄筋コンクリートの建物にとって、雨漏りは放っておけない重大問題なのです。ある学校では放送設備が壊れていて、去年の震災のときは、ハンドマイクで避難の指示をして歩いたということでした。これも放置できない問題ではないでしょうか。

去年の震災当日の夜、葛飾区ではすべての学校を開放して帰宅困難者を受け入れました。多いところは二百人もの帰宅困難者を受け入れたということです。

エアコンが使えない？

その晩は大変寒い夜でした。体育館は大変冷え込みます。毛布だけでは寒くてしょうがないというところで、一部の学校ではエアコンの付いている教室に避難してきた人たちを誘導しました。問題が発生したのはその時でした。

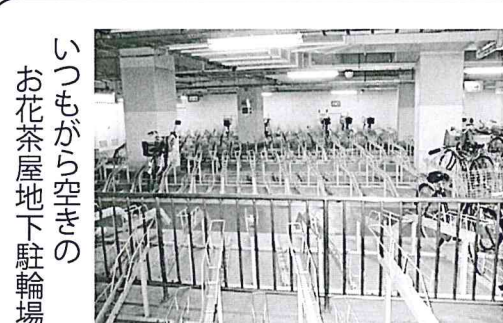
十二時を過ぎると使えない設定になっていることが分かったのです。おりかさ明実区議は、決算委員会でのような問題点を指摘し、改善を求めました。区は調査をしたうえで対応しますと答弁しました。



尖閣・竹島で「決議」、 共産党は修正案を提案

対立をエスカレートさせるな

第三回定例会では、尖閣と竹島の領土問題で、それぞれ「決議」があげられました。日本共産党区議団は対立が「エスカレート」しないよう、冷静な外交交渉を求める立場から修正案を出しましたが、他会派が原案のまま採択しました。



いつもがら空きのお花茶屋地下駐輪場

竹島は一九〇五年に日本に編入されました。しかしこの時期は、日本が韓国を植民地にしていつた時期と重なります。日本が植民地支配の誤りを

認め、その上で歴史的事実をつきあわせて問題の解決を図ることが求められます。尖閣諸島の問題と竹島の問題は性格が異なりますが、緊張をエスカレートさせるような行動は慎み、歴史的事実と国際法上の道理に立つて解決を図ることが大切です。

値下げを検討と答弁

京成お花茶屋駅近くの、親水公園地下にある地下駐輪場は、使い勝手が悪いことも三割ほどの利用しかありません。利用料も一回一五〇円、月極めで千五百円と平場の駐輪場よりも高めます。

中村しんご区議が、決算特別委員会では値下げなどの改善を求めたところ、「検討します」と区は答弁しました。

無料生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で無料生活法律相談を行っています。震災についても相談下さい。

(事前に連絡をお願いします。)

第三水曜日

中村しんご区議
090(8686)2671

第二木曜日

三小田准一区議
090(8040)1181

第四水曜日

中江秀夫区議
090(2176)5756

第三金曜日

おりかさ明実区議
090(3524)6719

第一水曜日

天野ゆうや事務所
渡辺キヨ子
080(6700)5960

党都政対策委員長

和泉なおみ 社会保険労務士
03(3697)2101